

3 研究主題及びサブテーマについて

(1) 「自ら学び」とは

- ・ 課題に対して興味や関心をもち、単元の見通しをもって進んで学習に取り組む姿
また、学習内容を理解し、次につなげて学ぼうとする姿

(2) 「思いや考えを表現する力を伸ばす」とは

- ・ 自分の思いや考えを、言葉や図を用いて的確に表現する姿
- ・ お互いの考えを伝え合い、相手の考えを受け止め、考えを広げ深めていこうとする姿

(3) 「自分たちでできる・わかる」を感じられる授業づくりとは

- ・ 学習の見通しをもって、何をどのように学ぶのかがわかる授業づくり
- ・ 子どもが、できた、わかったという達成感を感じられる授業づくり
- ・ 児童が複式の学習指導の流れを理解し、一人学びやペア・グループ等での交流活動から学びを構築する複式学級の授業づくり



4 研究の仮説

本研究の仮説は、次のとおりである。

仮説 1 何を身につけるのかを明確にした授業づくりを行うことで、児童は授業を通して身についた力を実感し、「自ら学ぶ」意欲を高め、進んで学習に取り組むようになるであろう。

仮説 2 自分の考えを持てるように個に合わせた手立て、交流する場を工夫することで、児童は自分の考えを表現し、よりよい考えに深め合おうとすることができるようになるであろう。

